

平成 29 年 7 月 1 日

聖和学園高等学校

## 平成 28 年度学校評価に関するまとめ

はじめに

学校教育法第 42 条に、「文部科学大臣の定めるところにより当該校の教育活動その他の学校運営状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るために必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない」と規定されている。

これに基づき本校においても生徒、保護者による学校評価アンケートならびに教員による自己評価アンケートを毎年継続して実施し、それを検証することにより次年度への重点課題を設定し、さらなる本校の学校運営の改善と発展を目指すこととする。

### 1. 本校の基本方針

本校は仏教教育による人格の陶冶を建学の精神とし、お釈迦様の教えを伝える日本仏教の各宗祖師たちのことばや行跡を現代に生かしながら、人間性豊かな知育・体育・徳育の養成に努めることを教育方針としている。

### 2. 重点目標

- (1) 建学の精神に基づく教育の実践
  - ◆ 勤行・宗教の授業・道徳教育の推進
  - ◆ 三行事による仏教精神の体得
- (2) 教育ビジョン実現に向けた取り組み
  - ◆ キャリア教育の推進
  - ◆ 健康教育の推進
  - ◆ 生徒指導体制の充実
  - ◆ 読書活動の推進
  - ◆ 魅力ある授業づくり
- (3) 教育目標達成に向けた教育の質の向上
  - ◆ 学力向上のための取り組み
  - ◆ 仏教関係行事を通じた心の教育
  - ◆ 国際化に向けた教育
- (4) 生徒の支援体制教科に向けた取り組み
  - ◆ 学習指導、進路指導、生活指導の充実
  - ◆ 教育相談体制の充実
- (5) キャンパス施設整備

### 3. 平成 28 年度の主な取り組み実績

仏教関係行事（仏教三大行事、年二回坐禅会、松島禅の集い、長生園訪問、生徒及び教員こころの研修）  
吹奏楽クラス、アスリートクラス、アドバンスクラスの設置  
I C T 教育の活用授業、各教科研究授業、公開授業、健康に関する講演会（年 3 回）  
インターンシップ、ボランティア体験、各種実習  
高大連携事業  
模擬試験、長期休業中講習会、勉強合宿、放課後講習  
朝読書、選書会、読書感想文コンクール  
教科の専門性を高める研修への参加、他教員研修の実施  
教育相談コーディネーターを中心とした生徒支援体制の構築と充実  
SEIWA ポータルへの授業動画の本数を増やし配信  
定期的保護者会の実施、保護者対象講演会、教育相談  
進路ガイダンス、進路講演会、個別小論文面接指導  
国際ロータリー短期派遣事業、グローバルウィーク（国際理解教育週間）  
芸術鑑賞会、韓国・鮮半島研修会(演劇公演鑑賞会)  
交通安全教室、マナー教室  
オープンキャンパス、学校説明会、中学校訪問、HP 全面見直し、他広報活動  
漏水対策工事、空調設備改修工事、楽器購入 など

### 4. 平成 28 年度実施アンケートについて

#### (1) 質問項目について

質問項目は 21 項目あり、内容は教育目標、宗教教育、学習指導、生徒指導、進路指導、防災安全教育、広報活動、教育環境、保護者・同窓会との連携に関する質問で構成されている。各質問項目（下記参照）に対し、①「そう思う」②「だいたい思う」③「あまり思わない」④「思わない」⑤「わからない」の中から一つ選び回答する。すべての質問項目に対し、①「そう思う」②「だいたい思う」と答えた場合、これを肯定的な回答に分類し、③「あまり思わない」④「思わない」と答えた場合、これを否定的な回答に分類し、まとめを行った。

#### (2) 実施内容

実施時期 : 平成 29 年 2 月

調査対象 : 生徒・保護者・教員

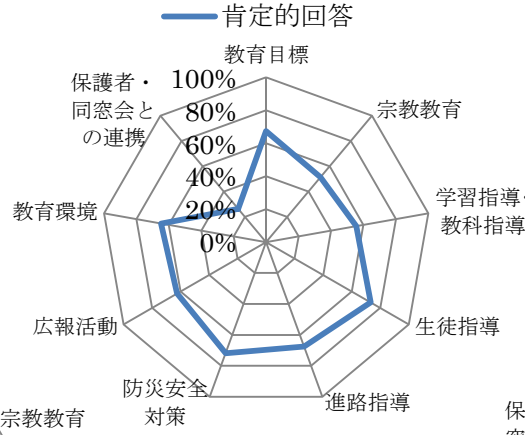
調査型式 : 匿名アンケート調査 ※県外等の保護者には郵送で対応

回答率 : 74.1%

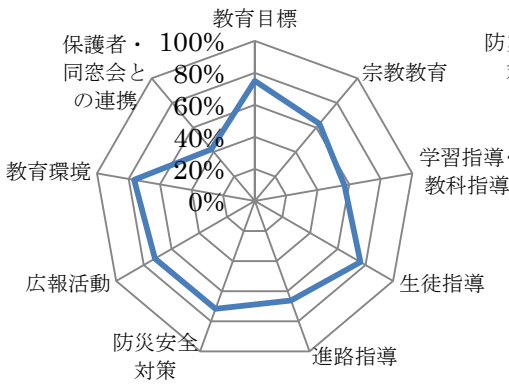
(3) 生徒、保護者、教員アンケート分析チャート

学校全体

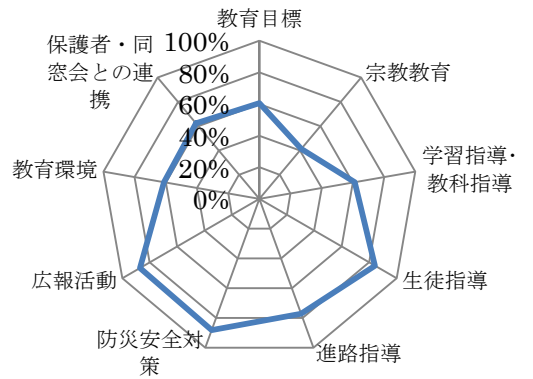
生徒(全体)



保護者(全体)

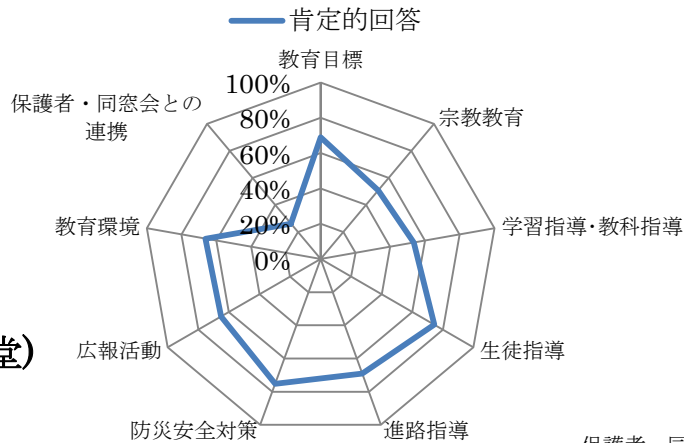


教員(全体)

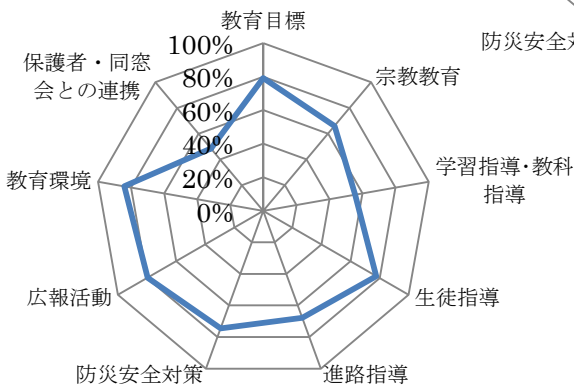


薬師堂キャンパス

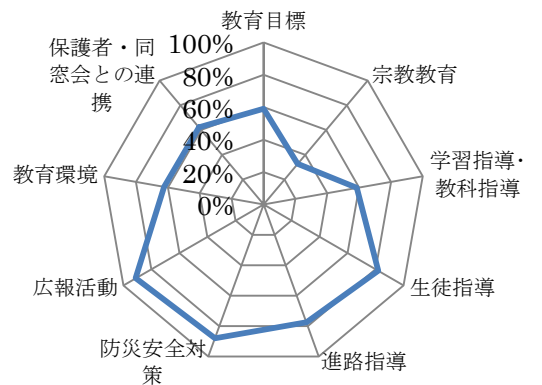
生徒(薬師堂)



保護者(薬師堂)



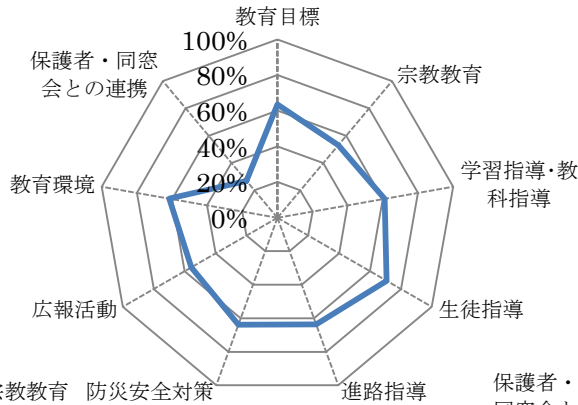
教員(薬師堂)



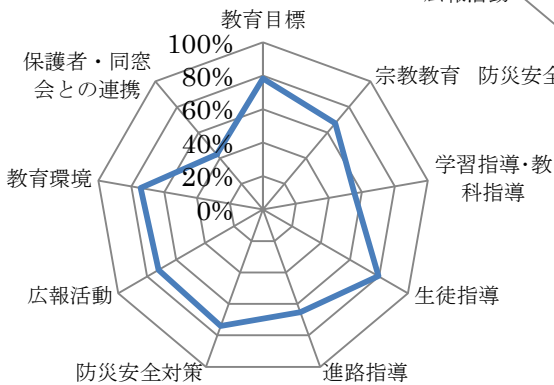
三神峯キャンパス

生徒(三神峯)

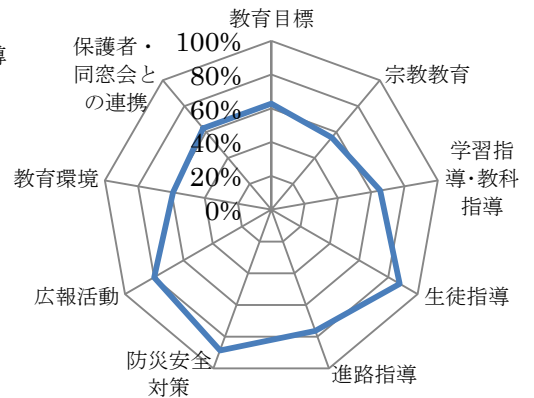
— 肯定的回答



保護者(三神峯)



教員(三神峯)



5. 総括

評価分析と  
課題点

すべての質問項目に対し、①「そう思う」②「だいたい思う」とし、その割合を算出したところ全体の評価は次のようになった。  
**【 生徒・・・63%      保護者・・・70%      教員・・・68% 】**  
 最も高い評価を得られた項目は、「部活動の活発さとマナー等の基本的な生活習慣の確立のための指導」である。この点においては、日々の指導が評価されていると考察でき、今後の教育活動の励みとなる結果と言える。また、建学の精神・校訓の理解や教育課程に関する評価は教員側の予想より、生徒・保護者の評価が比較的高いことがわかった。一方、学習指導・教科指導に関しての評価は満足がいく結果とは言えず、日常の授業における目標設定や計画をより明確に示す具体策を講じることが喫緊の課題である。加えて残念な点は、学校、保護者・同窓会間の連携について、「わからない」と答えた保護者の割合が43%を占める結果となり、よりよい連携のためには今後どのような取り組みが必要かを検討していきたい。(生徒の値が低いことについては止むを得ない結果であるとする)

<p>まとめ及び 今後の展望</p>	<p>生徒アンケート、保護者アンケート共に肯定的な回答が <b>50%</b>を超える評価を得た点は概ね了としたい。しかしながら、学習指導と教科指導分野の評価は学校の根幹とも言えるため、今後更なる向上と充実を目指し取り組みを強化していく中心的課題が浮きぼりとなった。</p> <p>また印象として、生徒・保護者の値と教員の値に乖離がみられ、感じ方に距離を見る結果となったことをしっかりと受け止めなければならない。学校側の意図する目標が実際に生徒・保護者に率直に受け止めてもらうことが評価向上の入り口である。今後、生徒・保護者・ならびに地域に支えられる学校づくりに繋げられるよう、次年度の重点目標の設定に参考にしたい。</p>
------------------------	--